



あしたのために

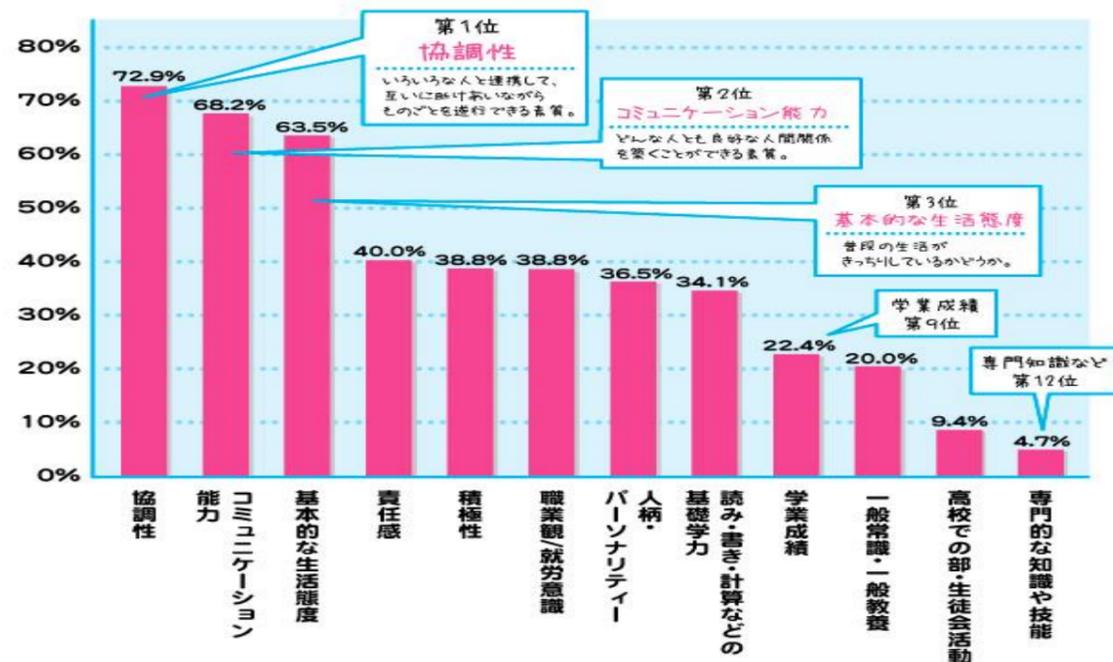
令和8年1月20日
東京都立立川学園校長
市川 裕二

企業が求める力は何か！

12月号で、実習を終えての課題を紹介しました。今回は、企業が採用する際に、どんな力を重視しているかを紹介します。以下は毎年2月に行っている職業講話での内容である「求職セミナー（東京しごとセンター）」からの引用になります。

- 1位 コミュニケーション能力
- 2位 協調性（チームワーク）
- 3位 積極性（チャレンジ精神）
- 4位 基本的な生活態度 5位 責任感 6位 職業観／勤労意欲
- 7位 一般常識・一般教養 8位 部活動・生徒会活動 9位 学業・成績

少し古いですが、以下のグラフは東京経営者協会の新規高校卒業予定者の採用に関するアンケート調査結果です。1位協調性、2位コミュニケーション能力です。時代が変わっても、企業の求める力に変化はないようです。



本校卒業生が働いている企業からの声は以下になります。

- ・挨拶をしっかりする生徒
- ・明るく、元気な生徒
- ・積極的に行動できる生徒
- ・漢字の読み書きができる生徒
- ・メモをしっかり取る生徒
- ・時間を守れる生徒
- ・パソコンのスキルはそこまで重視しない

求める力第1位のコミュニケーション能力について簡単に触れます。「話す」「聴く」だけではコミュニケーションとは言えません。「反応する」があって、初めてコミュニケーションが成り立ちます。

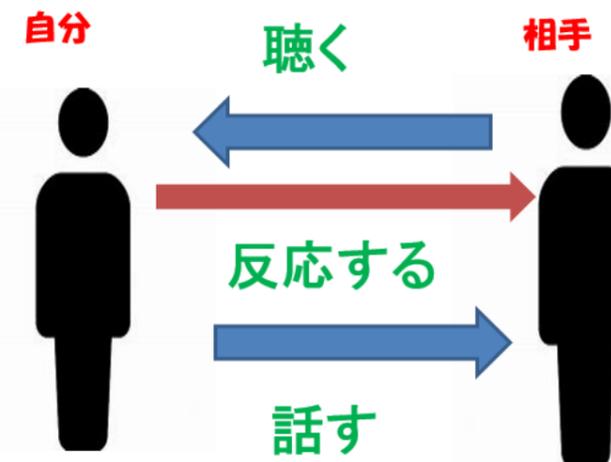
教員の問いかけに対して、皆さんははっきり反応していますか。反応がなければ、分かったのか、分からないのか判断することもできません。反応することで、コミュニケーションを取ったと言えます。

実習でも反応をはっきりするようにと指摘を受けることがあります。

「おはようございます」「お先に失礼します」

「わかりました」「もう一度お願いします」「ありがとうございます」「失礼しました」などは、指導者と円滑にコミュニケーションを取るためには必要だと生徒にも伝えていきます。

コミュニケーションの基本は挨拶だと考えています。自分から積極的に挨拶することは大切なことです。明るく、元気に挨拶できているかどうか、振り返ってみてください。



コミュニケーションは、キャッチボール

やえ部門進路講演会④ 講演後のアンケートの質問にお答えします。

質問：就労後も学校のフォローがあると伺いましたが、具体的なフォロー体制はどんな感じでしょうか。

回答：武蔵台学園高等部卒業後も、卒業生の保護者から相談のお電話をいただくことがあります。その場合、状況によっては、進路先の方・保護者・学校・相談支援事業所の方で問題解決のための会議を行うことがあります。

卒業後に出てくる悩みについては学校のほか、福祉事業所に進まれた方は、進路先の方や相談支援事業所の方が相談の窓口になります。

企業に進まれた方は、各市にある「障害者就労支援センター」の方が相談の窓口になります。